

# 夏季流動ダイナミクス知の融合博士学生セミナー報告書

企画室担当 伊賀由佳, 小宮敦樹, 佐藤一永

**セミナー日時** : 2010年7月15日(金) 14:20~7月16日(土) 10:30  
**場所** : 奥松島 かんぼの宿松島  
**参加者数** : 講師2名 教員5名 学生12名 その他1名 計20名

## セミナー概要 :

本セミナーは2009年度より実施しており, 目的としては, 博士課程大学院生が専門とする学術分野のみでなく, 広く, 産業・環境・社会・国際問題等に関心を持ち, 複眼的視野を持って自らの将来を切り拓いて行く事を支援することである. 本学教員, 産業界や企業の経営者・現役管理職, 事業経営や国際問題のスペシャリスト等を講師として招き, 講演と質疑応答を行い, 学生が自身の研究内容やGCOEプログラムを通じて得た経験などについて, セミナー参加者全体に紹介する形式のワークショップとする.

今回のセミナーでは東洋エンジニアリング株式会社より山田豊 代表取締役社長をお招きし, 東南アジアおよび西アジアにおける巨大化学プラント開発に関する講演をしていただき, 講演を通して国際的なバランス感覚の重要性等をお話いただいた. 山田社長は, 本学高速力学研究所(現:流体科学研究所)の出身であり, 参加者の大先輩にあたる. 現在の日本の産業界の中心にいる方の講演ということもあり, 参加者の学生は真剣に聴講していた. 講演後は参加学生から様々な質問があった. 技術的な質問はもちろんのこと, 特に経営者としての立場から, 今の学生に望んでいることなどの質問があがった.



山田豊社長による講演

講演終了後には山田社長を囲んで, 博士学生討論会を開いた. 伊賀助教が司会役となり, 博士学生の進路選択についての討論を行った. 山田社長や和田教授からは企業で求められる人材, 圓山教授からは大学研究者に求められる人材についてのお話を頂いた他, 参加の若手教員からは自身の進路選択の経緯についてもお話頂いた. 民間企業, 研究機関, 大学, それぞれに就職した際の共通点や相違点について討論し合い, それを受け, 博士学生全員で, 自身の博士取得後の進路についての考えを発表し合った. 特に, 就職活動期を迎えた博士3年生の話は, これから進路選択をする博士1年, 2年生には具体的で身近なロールモデルとして興味深かったのではないかと思います.

夕食後は, 教員および学生が一堂に会しての食事会となった. 参加学生にとっては, 食事をとりつつ, 講師の先生方と有意義な議論を行うことができた場となった.



高木敏行教授による講演

セミナー2日目には, 当GCOEの事業推進担当者である高木敏行教授の「電磁現象を用いた機能性材料や非破壊評価」と題した研究講演があり, 企業と大学を経験された高木教授のこれまでの研究変遷についてお話があった. 若い時代に専門性を高めることはもちろんのこと複眼的視点を育てることが, その後の研究や人生選択に重要な役割を果たすということを知ることができた.

今回の夏季セミナーではこれまでに倣って, 企業関係者および大学関係者の2名の講師を呼び, 参加学生にとっては, それぞれの講演から学べるものが非常に多かったのではないかと考えることができる. また, これらの講演を通して, 博士討論会で議論しあったように, これからの自身の在り方も深く考えることができたのではないかと思います.